

2024年度供給計画の概要

当社は、2024年度から2028年度までの5カ年の供給計画を策定いたしました。

1. はじめに

日本経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴う経済活動の正常化が見られる一方で、ウクライナ危機の長期化やハマス・イスラエルの武力衝突等の国際情勢の影響を受け、エネルギー価格をはじめとした様々な物価の高騰が継続しており、先行き不透明な状況が続いていることから、今後も十分に注視していく必要があります。

そのような中、エネルギー業界におきましては、電力・ガス小売全面自由化を契機とした業種や地域の垣根を超えた事業者間の競争激化、脱炭素化の進展に加え、エネルギー価格高騰への対応など、当社グループを取り巻く環境は大きな変化のなかにあります。

2023年度の当社の状況といたしましては、総力をあげて都市ガスの普及拡大に取り組むとともに、継続して行っております経年ガス管入替、安全型ガス機器の普及拡大等、将来に向けた強固な事業基盤を築き上げる施策も着実に展開してまいりました。

2024年度の設備投資につきましても、ガスの供給安定性向上と需要維持・拡大に資する観点から案件を精査し、3,743百万円の計画を策定いたしました。当社を取り巻く厳しい状況を踏まえながらも、将来を見据えて必要不可欠な案件には積極的に投資してまいります。

2. ガス需給計画

お客さま件数については、2028年度427,104件を見込んでおり、ガス販売量については、2028年度378,639千 m^3 を計画しております。

(単位：45MJ、千 m^3)

	2023年度 (見込)	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
お客さま件数(年度末)	423,484	424,124	425,184	425,824	426,464	427,104
ガス販売量(千 m^3)	375,708	384,326	383,148	382,301	380,438	378,639

3. 導管設備計画

導管設備については、2028年度末時点の総延長を6,139kmと見込んでおります。

(単位：km)

	2023年度 (見込)	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
導管総延長(年度末)	6,094	6,104	6,112	6,119	6,129	6,139

4. 設備投資計画(一般ガス導管事業)

設備投資については、2024年度3,743百万円を計画し、本期間中、5年間総額では18,471百万円を計画しております。

(単位：百万円)

	2023年度 (見込)	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
設備投資額	3,504	3,743	3,879	3,679	3,557	3,613

以上